



## 平日夜間・土曜日開講・ 都心キャンパスのプログラム

経営管理プログラムは、平日夜間・土曜日に、千代田キャンパスで開講される、日本語の講義を中心とするプログラムです。

千代田キャンパスは、神田一ツ橋に位置しており、東京都心で昼間お勤めの方が、就業時間後や休日に通いやすい環境が整っています。

## 体系的に理解して、 着実な知識基盤をつくる

講義科目は、経営学、マーケティング、会計、ファイナンスの4領域を中心として、「コア科目」と「選択科目」から構成されます。

コア科目では、基礎となる標準的な内容を体系的に理解していきます。選択科目では、先端的な理論やトピックなどを、自らの関心に基づいて学べます。

## 日本語で深く思考する 英語でも知識とスキルを磨く

経営管理プログラムの中心的な科目では、日本語を母語とする方々を主な対象として、基本的な知識ベースを構築した上で、深い思考力を育てていきます。

また、英語による専門講義も提供されており、日本語と英語の講義と併用して、知識を深めていくこともできます。

一橋ビジネススクールの経営管理プログラムは、千代田キャンパス（東京都千代田区 一ツ橋）で、平日夜間・土曜日に開講される、日本語での講義を中心とする経営学修士（MBA）プログラムです<sup>※</sup>。

都心の企業・官公庁に勤務されている方を主な対象として、先端的なマネジメント研究に取り組む常勤教員による講義と、

豊富な経験を有する実務家教員による講義を効果的に組み合わせ、将来を担う高度 経営人材を育成します。

※ 一橋大学では、2018年4月に、商学研究科と国際企業戦略研究科を統合して、経営管理研究科を新たに設置した上で、一橋ビジネススクールとして、高度経営人材育成に向けた教育プログラムを拡充します。



## 先端的研究と 豊かな経営経験の融合

経営管理プログラムは、各領域で先端的な研究を行う専任教員が担当する講義と、ビジネスで豊富な経験を有する実務家教員による講義で構成されます。

このような組み合わせにより、体系的な知識をベースとしつつ、実践的な思考力・分析力を構築していきます。

## 少人数クラスでの濃密な議論

少人数教育は一橋大学の伝統です。経営管理プログラムでは、すべての学生は「ワークショップ」と呼ばれるゼミナール形式のクラスに、2年間を通じて所属します。

ワークショップでは、教員と学生の間での対話を通じて、適切な理解を促すとともに、深い洞察力を磨きます。

## 未来のキャリアを構築する

経営管理プログラムにおける2年間の学びを通じて、体系的な知識と深い思考力を獲得し、変化する環境に的確に対応できる能力を構築していきます。

修了後は、事業会社での将来の経営人材やコンサルティング会社や金融機関などでの高度専門職としての活躍が期待されます。